



※「テレワーク」…情報通信技術（ICT）を活用した、場所や時間にとられない柔軟な働き方

たちも重労働ですよ。

市長…一番喜ばれたのが、お子さんがいる先生たちと聞きました。

今までは仕事が終わるまで残業しないと帰れず、遅く帰れば家庭でも大変でした。それが時間で区切って帰り、テレワーク※⁴もでき、家族の絆も深まり、学校側も困らない。個々に作成していた教材も、共有すれば時間短縮になります。

また、御社と組んで昨年8月から始まったICTプログラミング

勉強会では、参加したお子さんだけでなく保護者のみなさんも、大変楽しまれていました。

菅谷…プログラミング講座で多くの多久市の子どもたちと一緒に一緒に学ばせていただきましたが、子どもたちの成長力はやっぱり凄いですね。無限の可能性を持っているというのはいくつかのことだと強く実感し、感動いたしました。

子どもたちの可能性をもっと伸ばしていきたいよう、オプティムとしても継続的にお手伝いをさせ

ていただきたいと思います。ぜひ、佐賀大学内の佐賀本店にも遊びに来ていただいて、子どもたちの未来を作るお手伝いを一緒にさせていただいたら大変幸せです。



活用が広がるドローン

菅谷…農業の分野では、白石町で農地調査を行いました。ドローンで撮影した画像をAIで解析し、麦や米が本場に植わっているかということが、屋内にいなながら分かります。

市長…ドローンは平時だけでなく、災害時に活躍できると思っています。多久市では消防団のドローン隊を作ることをご昨年決定しました。ぜひノウハウを教えてくださいたいですね。

菅谷…昨年の西日本豪雨の際には被害情報を把握するために、ドローンを飛ばして被害状況の確認を行いました。本来は人が測量するのですが、災害時ですと

非常に危険です。災害が発生しないことが一番ですが、万が一の時は多久市のお力になりたいと思います。



医療でのAI活用

市長…医療の分野でもAI・IoTの活用が進みますが、AIや画像解析を活用した緑内障をエックされていますね。検査を体験しましたが、膨大なデータを基に判断されるんですよ。

菅谷…そうです。佐賀大学と協同研究を行っている、眼底検査の結果を解析できる仕組みが、日本で初めて臨床まで通りました。眼底写真を撮ると結果を解析して診断補助の情報を提供します。

市長…これまで、検査結果が出るまでに大変な時間と労力、手間、コストがかかっていたことが瞬時に分かる。完全じゃないという専門家もいらつしやいますが、疑わしいという数値が出たら精密